

研究主題 子供の抱える困難さに寄り添う支援（1）

～「見る」から始まる支援の仕方～

I 団体概要

視機能支援研究会の前身である東京都肢体不自由教育研究会視機能支援部研究協議会（以下、視機能支援部）は、2000年に設立され、東京都教育委員会研究推進団体である東京都肢体不自由教育研究会専門部研究協議会の一つであった。2023年に東京都肢体不自由教育研究会が閉会することになり、視機能支援部は「視機能支援研究会」と名称を改め、東京都教育委員会研究推進団体の認証を受けた。

「視機能支援研究会」の主な活動目的は、視機能支援部と同じく「肢体不自由特別支援学校における見ることの支援の必要性を伝え、児童・生徒の生活や学びの環境を改善すること」である。

II 研究の目的

新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている。能動的・主体的な学びは、五感による外の世界への気付きからはじまる。五感の中でも視覚は、「感覚のうちもっとも多くの情報を取り入れている」（中澤恵江, 2008）といわれるように、その果たす役割は大きく、障害が重度の場合、自らの身体を使って、無意識に外の世界の情報を自ら取り入れるこ

とが困難な場合が多く、支援者が意図的に「見ることの支援」の観点から最大限に感覚を活用できるように支援することが重要である。以上のことを踏まえ、肢体不自由特別支援学校の児童生徒の見ることの支援について研修の機会を設け、「見ることの支援」に関する情報を蓄積・共有する研究研修活動を行っている。

III 研究の方法と内容

講演・講義(全4回)

- ・令和6年7月30日：午前 大貫二三恵氏による講演
「視機能について、その支援の方法」/午後 奥山敬氏による講義「ディスレクシアとその支援について」
- ・令和6年8月6日：全日 iPadを使った教材作成とその発表
<今後の予定>
- ・令和6年12月26日：午前 津布工浩氏による講演
「横浜訓盲学院での実践」肢体不自由と盲の重複障害の児童との交流について同児童の点字学習について/午後 奥山敬氏による講義「ディスレクシアとその支援について2」実践交流
- ・令和7年3月（予定）：午前視機能の基礎/午後支援の教材紹介

IV 研究の成果

・大貫二三恵氏による講演

「視機能について、その支援方法」

見えにくさに対して、7歳の臨界期を超えても、アイパッチや目薬を活用することで視力を向上させることができることの事例報告があった。学校での実践報告では、色付きメガネや部屋の照度をコントロールすることで、斜視の改善を図ることが紹介された。頭部の傾きも、斜視や立体視に影響するとのことで、配慮をしていくことの大切さを共有できた。

人は微細な点の見分けがつくようになると、人への興味がわいてくる。発達障害や知的障害のある子どもには、乱視をもつ子がおり、それが学習意欲を下げている現状がある。転覆性の眼振がある子供は、子供の向く方に大人を配置するなど小さな配慮をかさねていくことが、子供たちの見ることを支える上で大切であることを再確認した。

・奥山敬氏による講義

「ディスレクシアとその支援について」

「ディスレクシア（発達性読み書き障害）」の概要について、当事者である元・教員について動画を使いながら紹介がなされた。見た目には分かりにくいディスレクシアの実態と、その苦勞や社会の理解について知ることができた。

・iPadを使った教材作成とその発表

教材紹介や体験を行った。実際に体験し、子供の「見たいもの」を探っていくことで、障害の有無、程度にかかわらず、

提示する教材が年齢相応であることの大切さを知ることができた。また、実態に応じた自助具を使うことで、「重度」と呼ばれる子供でも取り組めることを学んだ。

人は動きのあるものが見えにくい時は、音声を手掛かりに周囲を理解することができる。今回の教材作成では iPad に動画や音声を入力する方法を学んだ。作成を通じて、子供の関心を引き出し、学習への意欲を高める方法を知ることができた。

V 反省と今後に向けて

今後も、適切な環境と機会を準備することで、全ての子どもがそれぞれの知的好奇心をもって、主体的に学びを広げたり、深めたりすることができるということを広く共有していきたい。

参考文献：中澤恵江（2008）. 重複障害児のアセスメント研究—自立活動の環境の把握とコミュニケーションに焦点をあてて—. 教育支援研究部, 課題別研究成果報告書, 国立特別支援教育総合研究所, 19-25.

団体名		視機能支援研究会
代表者	所属	東京都立八王子東特別支援学校
	職 氏名	校長 西村 孝法
	連絡先	042-642-2197
事務局	所属	東京都立多摩桜の丘学園
	職 氏名	主幹教諭 松本 健太郎
	連絡先	042-374-8111
団体ホームページ		https://shikinoushien.org/